



広報

# かめだ

# 9/15

No.243

毎月1日・15日発行

発行 新潟県亀田町役場 電話-2111代

編集 企画課



胸を張って入場行進 (西小グラウンド)

—とじて保存しましょう—

## 第19回少年少女球技大会

野球 22.52区

ドッジボール 2.5.6.13.26.42区 **優勝**

去る8月30、31日、夏休みの最後をかざる少年少女球技大会が、西小学校を会場に行われました。

各地区の保護者に引率されて集まってくる子供たちの顔はまっくろで、夏休みの成果を物語っています。

野球会場も、ドッジボール会場も熱気あふれんばかり、真剣なプレーが続いていました。

この大会が終ると二学期です。夏休みの思い出と一生懸命がんばっていました。

- 2頁・甚句まつりハイライ
- 3頁・第二回町民テニス大会
- 4頁・婦人大学研修旅行  
九月二十五日
- 5頁・随想、四十の手習い  
・俳句、短歌
- 6頁・国民年金追納制度  
・稲わらは焼かないで



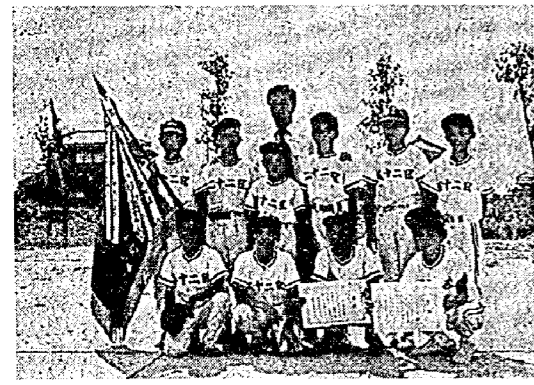
### 人口のうごき

世帯数7,092 (+25) 56.9.1現在

区分	人口	出生	死亡	転入	転出
総数	27,524 (+68)	28	14	113	59
男	13,447 (+26)	12	8	55	33
女	14,077 (+42)	16	6	58	26

在民登録人口

( )は前月比



接戦の末栄冠を手に



みごとにチームワークで勝利

### 第2回町民テニス大会

#### —熱戦を展開—

町では昨年から町民テニス大会を開催してありますが、八月三十日(軟式)で、熱戦が展開されました。

成績は次のとおりです。

軟式の部  
 ・男子ダブルス  
 一位 箕輪 浩樹  
 二位 山田 晃  
 阿部 勝浩  
 佐藤 健一

・女子ダブルス  
 一位 小池 美香  
 二位 中川 久子  
 三位 佐々木千勢子

・男子シングルス  
 一位 田中 稔一  
 二位 遠藤 勝也  
 三位 塚本 純一

・女子シングルス  
 一位 手塚 明仁  
 二位 遠藤 勝也  
 田中 則巨  
 佐々木千勢子  
 佐野 弘樹  
 松原 輝彦

硬式の部  
 ・男子シングルス  
 一位 菅原秀太加  
 三位 三沢 富保

・女子ダブルス  
 一位 渡辺 順子  
 渡辺 真由美  
 今泉 喜美子  
 伊藤 良子  
 山崎 政子  
 滝沢 加奈子

・男子ダブルス  
 一位 菅原秀太加  
 三位 三沢 富保

・女子ダブルス  
 一位 小池 美香  
 佐々木佐代子  
 渡辺 安子  
 笠原 典子  
 中川 久子  
 珊瑚 昌子

少年少女  
 球技大会の結果  
 八月三十・三十一日に行われ、第十九回少年少女球技大会の成績は、次のとおりです。

野球の部  
 一位 2252区チーム  
 二位 8131419区チーム  
 三位 111248区チーム  
 三位 早通チーム  
 トッシーボールの部  
 一位 2556132642区チーム  
 二位 1353区チーム  
 三位 51区チーム  
 三位 455区チーム

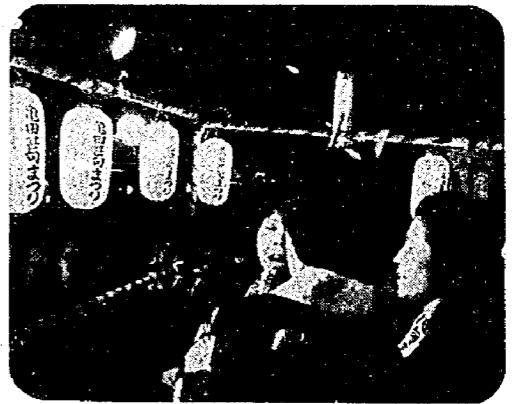
## 甚句まつりハイライト

狂暑となったことしの夏、十六日の町内流しに十年目を迎えた「亀田甚句まつり」は、八月十四日から十六日の三日間行われ、盛勢のいい楳のひびきした。

十四日、十五日は諏訪神社境内で甚句踊りの輪が広がって賑わいました。



甚句流し(本町通り)



囃子もかろやか



うちわを手に踊る(諏訪神社境内)



ガールスカウト鼓笛隊

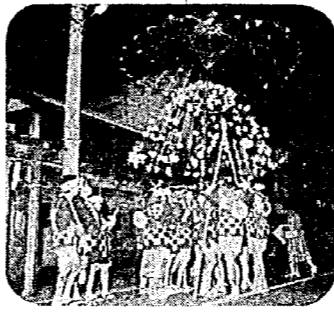


明社鼓笛隊

## 大岩万燈の押し合い

大岩万燈は、八月二十五日、二十六日に盛大に行われました。

テーマは「鯉の滝のぼり」と「養老の滝」で、若者の熱気あふれる押し合いが繰り広げられました。



花燈



激しくぶつかり合う

## 真夏の「ごみ収集を体験

### アルバイト学生の感想文

「苦労様」の一言を 芳賀 一彦

八月下旬二週間程ゴミ収集のバイトをさせてもらった。常日頃、何げなく通り過ぎていたゴミ収集所の側も、アルバイトをやった生ゴミの臭いを肌で感じたからには、これからそこを通る度に、あの生ゴミの悪臭を思い起こすであろう。又、ここでアルバイトをしたおかげで、ゴミ収集時によく耳にした「苦労様です」の一言に強く感銘を受け、この仕事に、ひとつの喜びが、この点にあると自分で勝手に思い込んでいます。



ごみは決められた場所へ

### 「苦労様」の一言を

杉本 修

今年の夏休みでは、二週間だけの短いアルバイトでしたが、一日も休まず、最後まで続けられたのが、自分では一番うれしい。それに夏休みになれば学校へ行ってしまった時と、ガラリと変わってしまうので体にもよ

### 「ごみは分別して

佐藤 英夫

「この夏休み、勉強を一生懸命にやっている人もいるけれど、毎日、ただ一日を目的もなく過ごす人が多いと思う。ぼくは、この夏休み目的を持って、よかったと思う。」

「この夏休み、勉強を一生懸命にやっている人もいるけれど、毎日、ただ一日を目的もなく過ごす人が多いと思う。ぼくは、この夏休み目的を持って、よかったと思う。」

「ごみは分別して、たいへん多くて、つくづくゴミの多さに驚きました。そして、燃えるゴミと燃えないゴミを区別しないで、出しているゴミもあるし、ゴミ袋を縛ってないゴミがたくさんありました。」

「以上のこと自分自身、自覚をもって、ちゃんと守れば、係員の人達が、スムーズに仕事ができると思います。」

### アルバイトをしてみて

西田 誠

一週間アルバイトをして感じたことは、時間的には短いのだが、内容が濃いという事だ。ゴミを回収する時早くつみ上げなければならぬ。中にはテレビ、洗濯機など重いものはなかなか上げるのがつらかった。だが仕事が終わったあとの昼食はとておいしかった。そしてもう一つ感じたことはゴミの中はまだつかえる物がたくさんあったという事だ。ラジオ・自転車・テレビなどもあった。自分は今高3である。今年の十月には就職試験がある。このことを生かしてがんばりたいと思います。

9月定例町議会  
9月16日開会の予定

# 婦人大学 秋の研修旅行 9月25日

## 北方文化博物館など

夏休みの間、にぎやかだった子供たちの声も、二期が始まってからは開けなかなら、お母さん方には静かな日中が戻ってききました。婦人大学は、九月二十五日に秋の研修旅行を計画しました。

明治初期の浦原地方特有の大地主制の遺構として知られる「豪農の館」北方文化博物館と、新築田の潜水園を見学し、ぶどう狩りを行って楽しい一日を過ごしましょう。

〔婦人大学研修旅行〕  
とき：九月二十五日(金)  
午前八時五十分まで  
公民館前集合  
ところ：北方文化博物館(横越)、潜水園(新築)



給食調理場で説明を聞く婦人大学生

田)、ぶどう狩り申込み：九月二十一日(月)まで金五千五百円を添えて公民館へ  
◇中食の用意をしてくださいます。

### 芸能祭出演 申し込み

「亀田町芸能祭」を十月十八日(日)町民会館で開催することになりました。芸能祭は、郷土の民謡をはじめ、舞踊、合唱などの発表の場としてきました。日ごろの練習の成果を、ぜひあなたもこの機会に発表してみませんか。ふるってご参加ください。

◇参加希望者は十月五日まで、公民館へ申し込みください。電話二七二八番

### テレホンサービス ダイヤルしましょう

- ◎九月十五日(十七日) 消費生活相談事例
- ◎九月十八日(二十一日) 石油製品の価格動向
- ◎九月二十二日(二十四日) 消費生活相談事例
- ◎九月二十五日(二十八日) 不動産広告の読み方見方
- ◎九月二十九日(三十日) 湯沸かし器の点検ポイント

### 元気に参加しよう

## 老人スポーツ大会

老人の健康保持と積極的な生きがい高め、老人の福祉増進を図ることを目的として、第四回亀田町老人スポーツ大会が次のとおり開催されます。多数のご参加をお待ちいたします。

とき：十月四日(日)  
午前九時から  
ところ：西小学校体育館

競技種目  
個人種目：スプリンタリー、アベックレース、魚釣り、ビリヤード、ビリヤード、ザル引きレース  
団体種目：養老の滝、ボーリングレース、大玉送り

参加ご希望の方は、九月二十日まで地区会長へ申込みください。

## 亀田町社会福祉協議会 創立三十周年に際して

町社協副会長 熊木三郎

〔文中敬称略〕  
政策総てが進駐軍の命令下とはいえ、庶民生活に大影響を与えたのは、預金封鎖に伴う新円発行と制限された生活費以外の預金引出

亀田民生委員史(6)  
制限は、物価高に拍車がかかり、政府の厚生事業も方面委員の努力も限界に達した視があり、何らかの緊急対策が要請されました。政府は、その対策に二十



大島 義雄



加藤 作平



山田 利吉



小島 休平

昭和五十七年  
歌会始め  
お題「橋」

◇歌進歌の歌進要領  
・自作の歌で一人一首とし  
・未発表のもの  
・用紙は半紙とし、毛筆で  
・自書してください。  
・書式は図のとおり

◇歌進の期間  
十月十二日まで(郵送は  
十二月の消印有効)

◇あて先  
〒100 東京都千代田区千代田一番一 宮内庁

(約24センチメートル)

封筒に「歌進歌」と書き添えてください。

(約33センチメートル)

(書式図)

職業	橋
郵便番号、住所	………(折り目)………
ふりがな	………
氏名	………
年月日生	………

## 随想

### 四十の手習い

公民館書道クラブ  
本町三  
無職 加藤 白雲  
(単司)



わたくしは、本年四月から公民館の書道クラブの指導をすることになりましたのでよろしくお願ひいたします。

もとより、指導などというよりは、わたくしの力の及ぶところではないのですが、書を愛されるみなさまと一語になつて、一生懸命に書に精進する気持は十分でございますのでご寛容ください。

また、このたび、広報に随想を求められましたので、わたくしが書くことになれば、四十からの手習いに志したことが、一番よいと思ひましたので、拙文ですが、ご笑覧ください。

わたくしが、書をはじめたのは、いまから十年くらい前に、日報紙上の「私の

一言」欄をみてからでした。その日報の「私の一言」欄は、長岡市の一女性、A子さんの投稿したものであり、その内容は、おおよそつぎのようでありました。

「ある日、A子さんは、贈りものをするために、あるたばこ店に行き、たばこのご進物を求め、その表書きを手許に取りよせて、墨をすりはじめました。

A子さんは、やがて墨がすり終れば、たばこ店のどなたかを呼んで、表書きを書いてもらうのではないかとおぼやかし、墨がすり終ると、静かに、筆をとって、ご進物の表書きを、すらすらと書いて、A子さんに差し出しました。

A子さんは、差出された文字をみて、その文字の匂品があり、美しい文字であ

ることに驚くとともに、一箱のたばこの価値が一段と高く見えて、自分の顔の赤くなるのを覚えました。」とありました。

当時、わたくしは、この一文を読んで、書を学ぶことにいたしました。

しかしながら、書道を学ぶといつても、そのころ、わたくしは、すでに四十歳を過ぎておりましたが、日本書道教育学会の通信教育をうけることにいたしました。

この通信教育は、ただ一つの文部省認定の書道通信教育で、その会長は、新潟大学芸術科書道学科の教授であった、石橋岸水先生でありました。

この教課内容は、基礎科が一年、専攻科が二年で修了するのですが、独学ではなかなかよい成績をあげる事ができませんでしたので、一年に一回、日光に開かれる、夏季合宿スクールに、夏休みに参加して勉強したのが、いまでは、遠い思い出となっております。

その当時、夏季合宿に参加する人は、北は北海道から、南は九州までの受講者が参加しており、いつも、この人たちの学究熱意に打たれて、自分の努力の足りないことを痛感して、新潟に帰ってきたものでした。

その後、わたくしも、一念発起、毎朝、一時間練習をつづけることにいたしました。毎日、毎日の連続と努力によつても、目に見えるような上達はなく、自分の思うようにはいきませんでした。

あるときは、人ばかり上達して、自分の上達しないことを嘆き、あるときは、自分の無能を知らされて、試行錯誤したのは、そのころのことでした。

よく努力するときの諺に「石の上にも三年」といいますが、書の道だけは、陰しく厳しいもので、どうしても十年の歳月が必要と思ひます。

書の上手な良寛さまも、自分の書について、つぎのようについておられます。

吾と筆硯何縁  
一回書了又一回  
不知此事問何誰  
大雄調御天人師

わしと筆硯は不思議な縁で一回書き終ると又一回書くこの因縁はだれにもわからぬだらう、知っているのはお釈迦さまだけか。

## 俳句

片陰やかの行商女くる時分  
豊作の兆いよく田水沸く  
次竹桃咲いてこの家いつも留守  
朝月に育ち岩魚の群れてあし  
白檀の扇開きし香かな  
螢見に出掛けしあとの電話とか  
能鼓一打に汗の引くおもひ  
一と点前終り遠雷近づきし  
木洩日をちらつかせゆく夏帽子  
方言と云ふは親しや汗を拭く  
宿の下駄はいておけきの輪の中に  
お手拭きの青や黄色や夏座敷  
松の枝にかかる夕月藤巻く

長谷川耕敏  
永松 西風  
大山清治郎  
期内きみい  
田村 和子  
佐藤 妙子  
福嶋 道子  
五十嵐みつ子  
村尾 ひな  
竹矢 好子  
茨木 三枝  
山田フミ子  
熊倉 静子

## 短歌

荒井 てる  
吾れも又短歌の旅に加わり  
て高麗様に参る嬉しさ

小出 寿史  
大雪崩に荒々折れし杉の幹  
とんぼはひそと羽根休めお

関本 清美  
うぐいすの涼しき声聞き  
ながら蓬平の山にひたりぬ

田村 忠雄  
何一つたがう事なく育つ  
青刈り稲にまなご据えたる

栗田ひとみ  
クラス会吾をいじめし君な  
れど握手求めて懐しと云う

本図 とし  
高麗の石段あえぎ登り来て  
とくろを巻きし蛇見てもよ

岩淵 サチ  
浜声も一時消され散策の傍  
車は走り過ぎ行く



### 国民年金の追納制度を

#### 活用しましょう

国民年金の加入者は、必ず保険料を納めなければなりません。経済的な事情などで納付が困難な場合、保険料納付の免除を受けることができます。

免除を受ければ、万一のときに支給される、障害年金や母子年金などは、保険料を納めていない人も免除を受けた人も、年金額にはかわりありません。

ところが、六十五歳から受ける老齢年金は、免除された期間をそのままにしておくと、その期間の年金額は保険料を納めた場合の三分の一になつてしまいます。そこで、国民年金ではこの不利な免除期間についての救済措置として「追納制度」が設けられています。

追納とは、免除を受けてから十年以内であれば、保険料をその当時の金額で、さかのぼって掛けることができる制度です。このため年金額は、保険料を納めていた場合と同じ取り扱ひとなります。

二十五年のうち、十年間の免除があるとなしでは、年額で約十四万五千円もの大きな差となります。

追納をすると  
しないとは大違い

納入状況	年 金 額
25年免除	181,100
5年納付 20年免除	253,500
10年納付 15年免除	326,000
15年納付 10年免除	398,400
20年納付 5年免除	470,900
25年納付	543,300

### 行政・年金

#### 合同相談所開設

十月十九日 栄徳寺

免除を受けた人は、生活にゆとりができたなら、ぜひ「追納」するように心掛けてみましょう。そして、老後は満額年金を受けて、不安のない生活を送りたいものです。追納の方法など、詳しいことは役場国民年金係におたずねください。

免除を受けた人は、生活的にも大きな影響を与えています。重要な有機資源の稲わらを焼却しないで土壌に還元するようにしましょう。

### 稲わらは焼かないで

#### 土にかえして

みりの秋を迎え、田んぼでは稲刈りがはじまりました。今年も稲わら焼却による、煙公害が心配されます。

近年、先祖伝来の田んぼや畑に堆肥・きゅうり肥の使用が少なくなり、大切な稲わらが焼却され、地力保持の点で各方面から問題になっています。

稲わらの焼却による煙公

### 善意の寄付

#### ありがとうございます

◆故村木ツルさん（諏訪三―三―三）のご遺族から、町社会福祉協議会に寄付金をいただきました。

### 古紙の回収結果

(八月二十日分)

新聞	四、八四五
雑誌	二、七六〇
ダンボール	一、〇一〇
計	八、六一五
	二六、一八〇

### 休日当番医院

(午前9時から午後5時まで)

9月15日	横田医院 (袋津3)	☎81-2729
20日	松原医院 (本町2)	☎81-2243
23日	宮腰医院 (本町2)	☎81-2253
27日	高橋医院 (東本町4)	☎81-2062
10月4日	片桐医院 (水道町1)	☎81-3320

渡辺病院 (西町2) ☎82-3111  
当直医在院、緊急を要する場合診療に応じます。

### 労働保険の届出

#### 様式が変わります

事業主から提出されます労働保険に関する成立届、申告書などの様式が改正されました。十月一日から提出書類の文字を直接、光学文字読取装置に読取らせることとなりますので、ご協力をお願いします。

詳しいことは、新潟労働基準局(☎〇三三〇四一六一)へおたずねください。

以上では、七百二十円が六百元になりました。

日曜・祝日割引  
六十円を超える区域への通話なら、日曜・祝日は昼間(午前八時〜午後七時)でも夜間割引並みの安い料金になりました。

急がぬ電話なら、休日の昼間にゆっくりとご利用ください。

◆詳しいことは電話局へお問い合わせください。  
☎二六〇〇

### 電々ニュース

#### 値下がりしました

五百円を超える、いわゆる「遠距離通話料」が安くなりました。

例えば、昼間の料金では五百円〜七百五十円までの三分間の通話料は、改政前は六百円だったものが五百二十円になり、七百五十円

・九月二十一日：午前八時から十二時まで  
西町一丁目、二丁目、三丁目の一、西町四丁目、五丁目、六丁目の全部、船戸山一丁目の一、本町一丁目の一



酒害相談のご案内  
とき：毎月第一、第三土曜日、午後二時〜四時  
ところ：役場協賛資料館 二階  
◎酒害に悩む周囲(家族)の相談をお待ちしています。酒癖(害)は病気ですので、絶対なおります。個人の秘密は厳守します。

行政相談  
皆さんの日常生活の中で役所や公社・公園等が行っている仕事について説明に納得できない、処理のしかたが間違っている、処理がおそくてたいへん困る  
このようにしてほしいのだが  
どうすればよいかわからない  
このような苦情、要望、問い合わせをお持ちの方は気軽に相談ください。

◆国民年金相談  
・国民年金に加入したい  
・福祉年金、障害年金について聞きたい  
・保険料を納めたくても納められない。